

◆◆特集◆◆

★ゲリラ豪雨に対応した新しい事前通行規制の試行★
～災害捕捉率の向上と通行止め時間の適正化～
(国土交通省 道路局 国道・防災課 道路防災対策室)

平成27年度の出水期より、直轄国道の一般道路において、「時間雨量」による「ゲリラ豪雨に対応した新しい事前通行規制」が試行されることとなった。これまでの制度の歴史や導入経緯等の説明を交えながら、今般の取り組みについて紹介を行う。

◆◆TOPICS◆◆

★名神高速道路全線開通50周年をむかえて★
(中日本高速道路株式会社 名古屋支社)

1965（昭和40）年7月1日、一宮IC～小牧IC間の開通により名神高速道路が全線開通してから、今年で50年を迎えました。名神高速道路は、日本初の高速道路として開通し、日本における高速道路の歴史を切り拓くとともに、日本の大動脈として地域の皆さまの通勤・通学、日々の暮らしの物流を支え、日本経済の発展に大きく貢献して参りました。

本稿では、名神高速道路が50年の間に果たしてきた役割について紹介します。

.....

★「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰について★
(国土交通省 道路局 総務課)

国土交通省では「道路ふれあい月間」（8月1日～8月31日）に当たり、多年にわたり道路愛護思想の普及等に功績のあった民間の団体または個人に対して、感謝状を贈り表彰することとしています。

本稿では、平成27年度に表彰された96団体96件、個人9名9件について紹介します。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★～北陸新幹線開業～

加賀百万石の城下町「金沢」の道路管理について★

(北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 道路管理第一課)

北陸新幹線の開業により、多くの観光客等が訪れ連日の賑わいを見せている金沢の街。市内の見所が集積する地区を通る国道 157 号及び 159 号を管理している金沢河川国道事務所の安全で円滑な通行の確保や伝統的建造物との景観形成への取り組みなど、道路管理の現状と今後の課題・施策等について紹介します。

.....

★沖縄県の道路維持管理戦略★

(沖縄県 土木建築部 道路管理課 補修班)

沖縄県は、東西 1,000km、南北 400km の広大な海域に大小 160 の島々が点在する島しょ県である。また、気象条件も我が国唯一の亜熱帯・海洋性気候に属し、台風の常襲地域である。

この広い県域や特有の気象現象における道路の維持管理に関して、多岐にわたる課題等の解決に向けた取組の一例を紹介するものである。

.....

★自転車を活用した自転車まちづくりの推進について★

(沖縄県 名護市 建設部 建設土木課)

沖縄県名護市では、平成 23 年度より施策の中で、健康によく環境にやさしい自転車を活用したまちづくりを掲げ、平成 24 年度より自転車指導レーンの整備に取り組んでいます。

ハード施策での自転車ネットワークの設定方法や、自転車指導レーンの整備形態、ソフト施策での自転車の利用促進のための今後の検討課題について紹介します。

◆◆編集後記◆◆

毎年楽しみにしている全国高校野球選手権大会が閉会し、夏が終わる寂しさを感じています。思い返せば、子供だった頃、お兄さんたちが懸命に闘っている姿がとても眩しく見えていました。そして、高校生のころになると、積上げてきた努力とこれまでの練習の集大成ともいえる同世代の激闘に感動するようになりました。今となっては、高校球児の笑顔、そして、悔しさまでもが羨ましく映ります。時が経つのはホントに早いものです。

全国高校野球選手権大会が幕を下ろしたあと、世界陸上、世界バレー、世界柔道が相次いで開幕し、5年後にも活躍が期待される選手を探しつつ、応援に忙しい日々が続いています。世界のトップアスリートたちの世界記録やスーパープレーが気になるのですが、最近では、選手の人柄についての解説に耳を傾けるようになりました。精神的な支えである家族構成等の紹介のほか、生い立ちやその種目に出会うまでの過程、ケガや故障から競技に復帰するまで苦労・苦悩など、いろいろな角度からその選手が紹介されています。なかでも印象に残ったのは、少年・少女たちの未来に希望の光を注ぐべく、スポーツへの参加を呼びかけながら教育や生活環境を改善する活動に、とても熱心に取り組んでいる選手の紹介でした。日々のトレーニングやモチベーションの維持だけでも大変であろうと想像しますが、このような慈愛に満ちた活動を行っていることに心を打たれました。このスポーツへの参加の呼びかけによって、今はまだ注目されていない普通の少年・少女が、来年の2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック、また、5年後に迫る2020年東京オリンピック・パラリンピック大会までに、世界的なアスリートへと成長し活躍する姿をみられると嬉しく思います。

5年後というと、まだ先という感じもしますが、きっとあっという間に到来してしまうことと思います。歳を重ねるごとに時の流れが速く感じられるようですが、これは、経験に対して新たに感動することが少なくなり、また、日々が単調となるためといわれています。そこで、5年という歳月の流れを少しでも緩やかに感じられるよう、少しでもインパクトのある毎日を過ごせたらと思い、ジム通いを決意したところです。2020年、東京に再びオリンピックがやってくるまで続けられますように。(U)